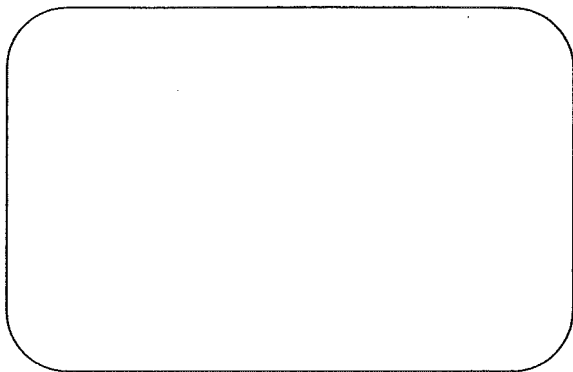


調 査 票



「市区町村における精神保健福祉対策に関する調査」

(ご記入上の注意)

- ・ご回答は、該当するものの番号に○をお付け下さい。
- ・設問により、「○は1つ」、「○はいくつでも」等があります。
- ・()内は、具体的にご記入下さい。
- ・政令指定都市の場合、問2、問13～問18のご記入は不要です。

市区町村名

()都道府県	()市区町村	管轄保健所 ()保健所 ※政令指定都市は、市の保健所名を ご記入下さい。
---------	---------	--

ご記入者

部署 ()	電 話
職種 保健婦・精神保健福祉士・事務職・ その他 ()	()
ご氏名	F A X
()	()

問1 あなたの市区町村の概況についてご記入下さい。

①人口 (平成13年10月1日現在)	() 人
②面積	() k m ²
③全保健婦数 (すべての部門)	() 人
④係長級以上の保健婦数	() 人

問2 市区町村から管轄保健所までの所要時間についてご記入下さい。(政令指定都市は記入不要)

①役所(役場)から保健所への 所要時間	①バスや鉄道で およそ()分 ②自動車でおよそ()分
②最も遠い住民の場合の保健所への 所要時間	①バスや鉄道で およそ()分 ②自動車でおよそ()分

問3 現在、あなたの市区町村では、精神保健福祉の担当部署（住民の相談に対応している部署）はありますか。また、それはどこですか。 H14年度以降、あなたの市区町村では、精神保健福祉の担当部署はどちらになる予定でしょうか。

現在	①精神保健福祉の担当部署の有無（○は1つ）	1. ある 2. ない
	②精神保健福祉の担当部署（○は1つ）	1. 保健 2. 福祉 3. 保健福祉 4. 保健と福祉で担当業務を分担 5. その他（ ）
14年度以降	③精神保健福祉の担当部署の予定（○は1つ）	1. 保健 2. 福祉 3. 保健福祉 4. 保健と福祉で担当業務を分担 5. その他（ ） 6. 未定

問4 H14年度以降に、あなたの市区町村では、精神保健福祉の業務のための職員の増員計画はありますか。

①増員計画の有無（○は1つ）	1. ある 2. ない 3. 未定
②増員計画人数	1. 保健婦 （ ）名 2. 精神保健福祉士 （ ）名 3. 事務職 （ ）名 4. その他（職種； ）（ ）名

問5 あなたの市区町村にある精神科医療機関についてお尋ねします。複数ある場合は、住民が最も多く利用している医療機関への所要時間についてご記入下さい。市区町村に精神科医療機関がない場合は、最も多く住民が利用している近隣市区町村にある精神科医療機関への所要時間をご記入下さい。

①精神科医療機関の有無（○は1つ）	1. ある 2. ない ↓ そのうち、社会復帰施設等を併設している医療機関の有無（○は1つ） 1. ある 2. ない	
②精神科医療機関の数（クリニック、総合病院、診療所を含む）	1. 入院施設がある医療機関 （ ）か所 2. 入院施設がない医療機関 （ ）か所	
③精神科医療機関への所要時間	役所（役場）からの所要時間	1. バスや鉄道で およそ（ ）分 2. 自動車で およそ（ ）分
	最も遠い場合の所要時間	1. バスや鉄道で およそ（ ）分 2. 自動車で およそ（ ）分
④役所（役場）から市区町村の中心部までの所要時間	1. 自動車で およそ（ ）分	

問6 あなたの市区町村内にある精神障害者が利用できる社会復帰施設等についてお尋ねします。（下記の選択肢の番号を選んで下さい。ない場合は数の欄に0）

<選択肢>

1. 家族会	6. 当事者団体
2. 運営委員会	7. 住民中心の任意団体
3. 市区町村	8. NPO法人
4. 医療法人	9. その他（具体的に
5. 社会福祉法人	）

社会復帰施設	数	設置主体（○はいくつでも）	運営主体（○はいくつでも）
①小規模共同作業所	()ヶ所	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8 その他()	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8 その他()
②グループホーム	()ヶ所	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8 その他()	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8 その他()
③授産施設	()ヶ所	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8 その他()	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8 その他()
④精神障害者 地域生活支援センター	()ヶ所	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8 その他()	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8 その他()
⑤生活訓練施設 (福祉ホームを含む)	()ヶ所	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8 その他()	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8 その他()

問7 あなたの市区町村に地域生活支援センターがない場合、お答え下さい。住民は近隣の市区町村にある生活支援センターを利用していますか。（○は1つ）

1. 利用している	2. 利用していない	3. わからない
-----------	------------	----------

問8 あなたの市区町村で、今後、地域生活支援センターを設置する予定がある場合、お答え下さい。（○は1つ）

1. いつ頃の設置予定ですか	(年 月頃)
2. 設置主体はどこですか	市区町村・法人・その他()

問9 家族会の活動状況と市区町村の支援状況についてお尋ねします。

①あなたの市区町村の住民が参加できる家族会がありますか。 (○は1つ)	1. <u>あ</u> る → ②、③、④へ 2. な い
②家族会員の範囲について (○は1つ)	1. 市区町村 2. 保健所管内 3. その他 ()
③家族会活動の事務局について (○は1つ)	1. 事務局は家族会にあり、自立している 2. 事務局は家族会にあるが、かなり支援が必要 3. 行政に事務局を置いている 4. その他 ()
④家族会への市区町村の支援 (○は1つ)	1. 特に力を入れている 2. 要請があれば支援している 3. 原則的に保健所で支援している 4. その他 ()

問10 精神保健福祉に関する当事者や住民活動の状況についてお尋ねします。

①当事者グループ	1. 活動している 2. 活動していない 3. わからない
②精神保健ボランティア	1. 活動している 2. 活動していない 3. わからない
③障害者を支える会や作業所などの住民活動	1. 活動している 2. 活動していない 3. わからない
④その他の団体・組織	名称・活動内容 ()

問11 あなたの市区町村は、精神障害者に対する住民の偏見が強い地域であると思われますか。記入者の主観でご記入下さい。(○は1つ)

1. 非常に強い	2. 強い	3. それほどでもない	4. 偏見はない	5. わからない
----------	-------	-------------	----------	----------

問12 前問の精神障害者に対する住民の偏見について、そう思った理由は何ですか。(○は1つ)

1. 住民の態度や発言から	2. 当事者や家族側からの発言から
3. 市区町村での調査結果から	4. 何となく、そう感じている
5. その他 ()	

※政令指定都市については、9ページの問19にお進みください。

問13 市区町村の精神保健福祉事業等についてお尋ねします。あなたの市区町村では、以下の活動事業を行っていますか。また、開始したきっかけは、どのような事ですか。それは保健所等と共同して行っていますか。(場所の提供のみの場合は含みません。)

<p>①精神保健福祉相談事業 (日時を定めて実施される事業)</p> <p>※一般相談事業のうち、精神科専門医等による相談日を設けている場合は、その回数、きっかけ等を回答</p>	<p>1. 行っている (年 回)</p> <p>→ きっかけ ア. 相談などを通じた地域のニーズ イ. 都道府県(保健所等)との役割分担 ウ. その他 ()</p> <p>→ 共同して行っていますか ア. はい → どこに行っていますか。 イ. 保健所 イ. 福祉施設 ウ. その他 ()</p> <p>イ. いいえ</p>
<p>②訪問指導・相談・面接 (随時)</p> <p>※精神保健福祉の領域外の相談等として対応しているものも含む</p>	<p>2. 行っていない</p> <p>1. 行っている 訪問 (延べ 件/年) 相談 (延べ 件/年) 面接 (延べ 件/年)</p> <p>→ きっかけ ア. 相談などを通じた地域のニーズ イ. 都道府県(保健所等)との役割分担 ウ. その他 ()</p> <p>→ 地域のニーズはどのような事業や活動から把握されましたか。(〇はいくつでも)</p> <p>ア. 母子保健事業 イ. 老人保健事業 ウ. 介護保険事業 エ. 家庭訪問 オ. 地区組織活動 カ. 各種会議 キ. その他 ()</p> <p>→ 保健所との連携は主にどのような具合ですか。(〇は1つ)</p> <p>ア. 市区町村で継続的に対応 イ. 保健所に相談しながら市区町村で対応 ウ. 保健所を中心に対応、市区町村も役割を担う エ. 相談内容を整理して保健所に紹介 オ. 相談は受けなくて保健所を紹介 カ. 相談はなかった キ. その他(具体的に)</p> <p>2. 行っていない</p>

③デイケア・ ソーシャルクラブなど 当事者を対象とした事業	1. 行っている (年 回) → きっかけ ア. 相談などを通じた地域のニーズ イ. 都道府県(保健所等)との役割分担 ウ. その他 () → 共同して行っていますか ア. <u>はい</u> →どこへ行っていますか。 ア. 保健所 イ. 福祉施設 ウ. その他 () イ. いいえ
	2. 行っていない
④家族教室など精神障害者の 家族を対象とした事業 (家族会支援は除く)	1. 行っている (年 回) → きっかけ ア. 相談などを通じた地域のニーズ イ. 都道府県(保健所等)との役割分担 ウ. その他 () → 共同して行っていますか ア. <u>はい</u> →どこへ行っていますか。 ア. 保健所 イ. 福祉施設 ウ. その他 () イ. いいえ
	2. 行っていない
⑤精神障害者が利用可能な ホームヘルプ事業	1. 行っている → 対象 ア. 精神障害者に限定 イ. 精神障害者に限らない → きっかけ ア. 相談などを通じた地域のニーズ イ. 試行事業 ウ. 障害福祉事業 エ. その他 () → 共同して行っていますか ア. <u>はい</u> →どこへ行っていますか。 ア. 保健所 イ. 福祉施設 ウ. その他 () イ. いいえ
	2. 行っていない

⑥講演会・教室・障害者と地域住民との交流会やイベント（地域住民への普及啓発を目的とした事業）	1. 行っている（年 回） →きっかけ ア. 相談などを通じた地域のニーズ イ. 都道府県（保健所等）との役割分担 ウ. その他（ ） →共同して行っていますか ア. はい →どこへ行っていますか。 ア. 保健所 イ. 福祉施設 ウ. その他（ ） イ. いいえ
	2. 行っていない
⑦市区町村が開催する企画会議、相談指導・各種社会資源等に関する会議	1. 行っている（年 回） →きっかけ ア. 相談などを通じた地域のニーズ イ. 都道府県（保健所等）との役割分担 ウ. その他（ ） →構成メンバー（〇はいくつでも） ア. 係長級以上の市区町村職員 イ. 精神保健福祉部門以外の市区町村職員 ウ. 保健所職員 エ. 当事者 オ. 家族会 カ. 他障害者
	2. 行っていない
⑧その他	市区町村で行っている事業があればお書き下さい。 〔 〕

問14 あなたの市区町村では、精神障害者に対する以下のような助成・補助等がありますか。

①交通費補助（〇は1つ）	1. <u>あり</u> → 年一人あたり平均約（ ）円 → その場合、補助基準はありますか？ 1. あり 2. なし
	2. なし
②市区町村独自の小規模共同作業所補助金（〇は1つ）	1. <u>あり</u> → 年約（ ）円 → その場合、補助基準はありますか？ 1. あり 2. なし
	2. なし
③その他 (福祉手当、医療費補助等)	<種類> 〔 〕
	<金額> 〔 〕

問15 精神保健福祉対策に関連する保健所との連携についてお尋ねします。次の会議等で話し合われたことは、あなたの市区町村の精神保健福祉対策に反映されていると思いますか。また、ケースの支援において連携は行われていますか。

①保健所が主催する 企画調整会議（協議会等）	1. 反映されている 2. 反映されていない 1. どちらとも言えない 2. 出席していないのでわからない
②保健所が主催する 実務担当者会議（事例検討会等）	1. 反映されている 2. 反映されていない 3. どちらとも言えない 4. 出席していないのでわからない
③保健所とのケース連絡	1. よく行っている 2. 行っている 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない
④保健所職員との同行訪問	1. よく行っている 2. 行っている 3. あまり行っていない 4. 全く行っていない

問16 精神保健福祉対策に関して、保健所や所へ支援や情報を求める場合の連絡方法についてお答え下さい。（○は1つ）

1. 保健所で担ってほしい事（役割など）を明確にして依頼する。 2. どんな役割を担ってもらえるのか相談も含めて依頼する。 3. 市区町村から求めなくても保健所から支援や情報提供がされる。 4. どのように連絡してよいかわからない。 5. その他（具体的に)
--	---

問17 精神保健福祉対策に限らず、あなたの市区町村では、保健所との連携は充分に行われていると思いますか。（○は1つ）

1. 充分 2. まあ充分 3. 時々不充分 4. 不充分
--

問18 平成14年度以降の精神保健福祉に関する相談・事業について、あなたの市区町村としての方針として中心的な考え方に○をつけて下さい。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 保健医療に関することは保健所が専門機関なので、市区町村は居宅福祉サービスの窓口に関することのみを行った方がよいと考えている。 |
| 2. 本来は保健医療に関することは保健所で行った方がよいが、住民の利便性から市区町村で対応せざるを得ないと考えている。 |
| 3. 市区町村では、どんな相談でも受けるが、デイケアや家族教室などの事業の実施については積極的に考えていない。 |
| 4. 住民からの相談はすべて対応し、地域のニーズのある事業(デイケア・家族教室等)も、市区町村で実施したいと考えている。 |
| 5. 精神保健福祉の相談は、NPOや生活支援センターに委託していく方向を考えている。 |
| 6. その他(具体的に) |

※ここからは、全ての方がお答え下さい。

問19 あなたの市区町村の精神保健福祉活動は充実していると思いますか。主観でお答え下さい。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 大変充実している | 2. まあまあ充実している |
| 3. あまり充実していない | 4. 充実していない |
| 5. 何とも言えない | |

問20 あなたの市区町村は精神障害者にとって生活しやすい地域と言えますか。主観でお答え下さい。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 大変生活しやすい地域 | 2. まあまあ生活しやすい |
| 3. あまり生活しやすい地域と言えない | 4. 生活しやすい地域と言えない |
| 5. 何とも言えない | |

問21 あなたの市区町村は、地域の精神障害者が生活しやすい環境が整っていると思われ
ますか。また、地域の精神障害者が生活しやすくなるために、それぞれの程度重要
であると思われますか。（○はそれぞれ1つづつ）

項 目	現状（○は1つ）					重要度（○は1つ）				
	整 っ て い る	ま あ 整 っ て い る	あ ま り 整 っ て い な い	全 く 整 っ て い な い	わ か ら な い	と と も 重 要 で あ る	重 要 で あ る	何 と も 言 え な い	そ れ ほ ど 重 要 で な い	重 要 で な い
1	よく相談にのってくれる医師がいる									
2	よく相談にのってくれるケースワーカーがいる									
3	よく相談にのってくれる保健婦がいる									
4	よく相談にのってくれる民生委員さんがいる									
5	夜間や休日、緊急の場合でも相談に対応できる場がある									
6	住居を借りたり、買ったりすることがスムーズにできる									
7	理解のある不動産屋がある									
8	福祉ホームやグループホームが利用できる									
9	公営住宅に障害者の優先枠がある									
10	仲間に会える場がある									
11	障害者同士がサポートしあえる集団がある									
12	障害者が自由に利用できる部屋や会場がある									
13	地域の精神保健福祉サービスについて、インフォメーションする場がある									
14	地域生活支援センターが徒歩又は自転車でいけるところにある									
15	デイケアが徒歩又は自転車でいけるところで開催されている									
16	障害者にあつたデイケアが選べる									
17	障害者に無料または安価で食事を提供する施設がある									

項 目	現状 (○は1つ)					重要度 (○は1つ)				
	整 っ て い る	ま あ 整 っ て い る	あ ま り 整 っ て い な い	全 く 整 っ て い な い	わ か ら な い	と と も 重 要 で あ る	重 要 で あ る	何 と も 言 え な い	そ れ ほ ど 重 要 で な い	重 要 で な い
18	安価で種類の豊富な惣菜が買えるお店がある									
19	家事を一緒に行ったり手伝ってくれる人を頼める									
20	お金の管理や福祉サービス利用の援助をしてくれる機関がある									
21	家事を学べる場や機会がある									
22	金銭管理を学習できる場や機会がある									
23	銀行や郵便局などの窓口での対応を学べる場や機会がある									
24	コインランドリーや自販機などの使い方を学べる場や機会がある									
25	電球のとりかえやボタンつけなどの日常生活での様々な対応を学べる場や機会がある									
26	社会参加のための交通費の補助がある									
27	職業訓練や就職試験・面接等の訓練の場や機会がある									
28	障害者の能力に合わせた労働条件に対応してくれる職場がある									
29	病気のために長期に休職しても戻れる職場がある									
30	作業所・授産施設・福祉工場等が徒歩又は自転車で行けるところにある									
31	障害者にあった作業所等を選択できる									
32	病院が選択できる									
33	病院が徒歩又は自転車で行けるところにある									
34	一般救急と同様の手続きで精神科救急を利用できる									
35	ショートステイが利用できる									
36	障害者が病状の自己管理について学習できる場や機会がある									

項 目	現状 (○は1つ)					重要度 (○は1つ)				
	整 っ て い る	ま あ 整 っ て い る	あ ま り 整 っ て い な い	全 く 整 っ て い な い	わ か ら な い	と と も 重 要 で あ る	重 要 で あ る	何 と も 言 え な い	そ れ ほ ど 重 要 で な い	重 要 で な い
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										

ご協力ありがとうございました。

研究会議委員

平成 13 年度

内 田 佐太臣	千葉県木更津保健所所長
尾 島 俊 之	自治医科大学公衆衛生学助教授
北 川 定 謙	埼玉県立大学学長（主任研究者）
島 田 トミ子	栃木県保健福祉部健康増進課主幹兼課長補佐
末 永 カツ子	仙台市宮城野区障害高齢福祉課課長
田 口 良 子	神奈川県三崎保健福祉事務所保健予防課副技幹
竹 島 正	国立精神・神経センター精神保健研究所精神保健計画部長
原 口 章 子	（埼玉県）小鹿野町総合保健福祉センター次長
平 野 かよ子	国立公衆衛生院公衆衛生看護学部部長（分担研究者）
増 田 令 子	社会福祉法人全国精神障害者社会復帰施設協会事務局次長
守 田 孝 恵	国立公衆衛生院公衆衛生看護学部主任研究官

（50 音順）

平成13年度厚生科学研究費補助金（健康科学総合研究事業）

「総合的な地域保健サービスの提供体制に関する研究」（主任研究者 北川定謙）

分担研究報告書

これからの地域保健福祉対策に従事する保健婦の活動のあり方に関する研究
－区市町村における精神保健福祉活動の実態について－

2002年（平成14年）3月31日発行

分担研究者 平野 かよ子

〒108-8638 東京都港区白金台4丁目6-1

国立公衆衛生院公衆衛生看護学部部長

e-mail kquenph@niph.go.jp